

野手海岸の歴史と文化

下永井横根 旭 吉崎 野手 木戸 蓮沼 本須賀



下永井横根 旭 吉崎 野手 木戸 蓮沼 本須賀



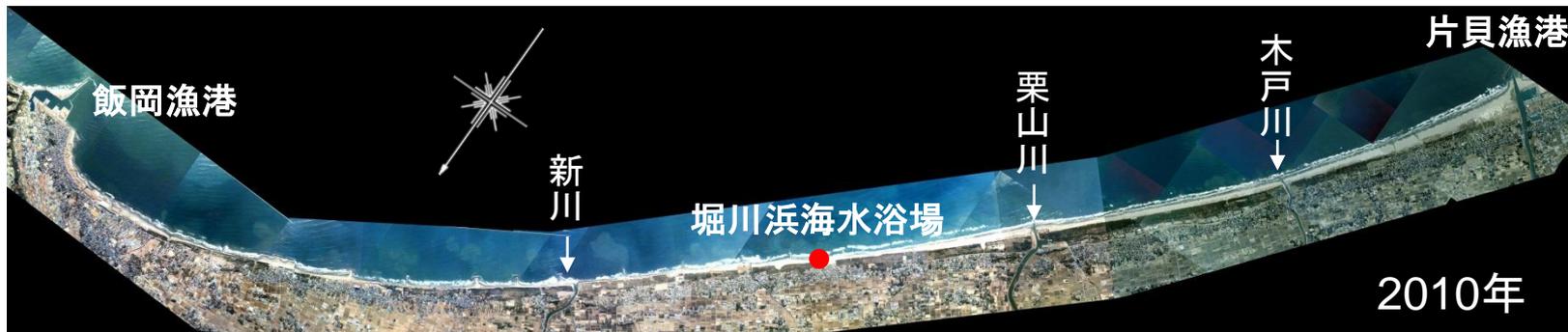
2001~2002年



下永井横根 旭 吉崎 野手 木戸 蓮沼 本須賀



下永井横根 旭 吉崎 野手 木戸 蓮沼 本須賀



2007年8月14日





サーフィン

年間を通して、良い波が立つポイントとしてサーファーには人気のスポット！ 近くには温水シャワーのある《はまの駅"吉崎浜"》があり便利！ 毎年吉崎浜海岸を会場に開催されるサーフィン大会には、県内外から多くの選手が参加します。



9 栢田仁組獅子舞

獅子は狛犬型(こまいぬがた)の朱塗りの獅子頭に幡幕(はたまく)をつけ、中に前足役、後足役各1名が入って舞う2人立ちの獅子舞です。特に、「梯子(はしご)獅子」の、高さ約10mの梯子を使った演技は豪快で勇壮。県指定無形民俗文化財です。

匠瑛市栢田5940番地:稲荷神社



7 8 御神幸祭

五穀豊穡などを祈願する神事と呼ばれる秋祭り。御輿が囃子連とともに2地区を渡御する。特に、海に入り威勢よくもむ姿は勇壮です。

7 匠瑛市野手1499番地 六社神社～野手地区内

8 匠瑛市川辺2877番地 十二所神社～川辺地区内



磯釣り



ハマヒルガオ

「海と植木」の南エリア

「匠瑛市観光ガイド」平成22年7月より

■ まつり暦

開催日	名称	場所	見どころ	
1月7日	金原の御奉謝	金原・三社神社	大篝火と御的神事	
1月上旬	山桑の御奉謝	山桑・稲荷神社	全長10mの大注連縄	
1月8日	栢田仁組獅子舞	栢田・稲荷神社	作田流の獅子舞	P22
成人の日前日	小高のはだか参り	小高・妙長寺～八坂神社	厳冬の夜の水ごり神事	P9
1月15日	松山神社筒粥神事	松山・松山神社	筒粥神事	
1月15日	ひげなで三杯	今泉・稲生神社	氏子が競って酒を3杯ずつ飲む	
2月1日	吉崎の御奉謝	吉崎・星宮神社	サイコロ占い	
2月8日	時曾根の太蛇まつり	時曾根コミュニティセンター	藁による3mの大蛇をつくる	
2月8日	中台の数珠くり	中台・竜性院	百万遍念仏行事	
2月8日頃	御大般若	西小笹	子供達が経箱を担いで村中をまわる	
2月初午の前日	飯倉の篝火	飯倉・稲荷神社	家の入口に炭を置いて厄除け	
2月初午	松峰神社の御奉謝	飯塚・松峰神社	鶴亀のシンコ細工	
2月11日	東郷神楽	新堀・稲荷神社	十二神楽	P22
2月19日直前の日曜日	亀崎の如意輪参り	亀崎・稲荷神社	女性による仏教行事	E
3月下旬～4月上旬	桜まつり	田町池端・天神山公園	提灯による桜のライトアップ	P17
4月上旬	そうさチューリップまつり	のさか花の広場	7万本のチューリップ	P21
4月第1日曜日	葦茅神社祭礼	八日市場ホ・葦茅神社	4月には珍しい神輿が出る祭	

「匠瑤市観光ガイド」平成22年7月より

開催日	名称	場所	見どころ	
4月13日	松山神社の神楽	松山・松山神社	下総十二神楽	P9
5月上旬	植木まつり	野栄農村環境改善センター駐車場	植木の共進会と即売会	㊄
旧暦6月15日	東谷祇園祭	東谷・八坂神社	激しいもみ合いをみせる神輿	㊄
7月23日・24日	富谷・愛宕神社祭礼	八日市場口・愛宕神社	23日は御神幸行列。24日は神輿	
7月25日	駒まね	八日市場イ・八重垣神社	青竹を燃やす神事	P14
7月25日	市場まつり	本町通り	植木や新鮮野菜など様々な出店	㊄
7月最後の土・日曜日	籠部田・星宮神社祭礼	八日市場ハ・星宮神社	御輿渡御	
7月下旬	のさかふれあい祭り	野栄さざんか広場	のさか太鼓	㊄
8月4日・5日	八重垣神社祇園祭	八日市場イ・八重垣神社	女神輿や20基以上の連合渡御	P12
8月中旬	盆踊り	市内各地	千葉県指定無形文化財	㊄
8月14日	片子の盆綱	片子・妙印寺	太さ20cm、長さ20mの大綱をつくる	
8月15日	大浦花火大会	堀之内・匠瑳保育園北	田圃の間に打ちあがる情緒ある花火	P10
10月	よかつべ祭り	本町通り、駅前通り	市民祭。みこし、踊り、お祭り広場	㊄
10月中旬	松山神社秋の大祭	松山・松山神社	神輿くぐりで無病息災の御利益	
10月中旬の土・日曜日	春海の水神社秋祭り	春海・水神社	天狗も登場する御神体還御行列	
10月第2日曜日	御神幸祭	野手・六社神社、川辺・十二所神社	浜辺で威勢よくもまれる神輿	P22
11月下旬	そうさ農業まつり	市役所駐車場	農業に関するイベントがもりだくさん	㊄

「匠瑳市観光ガイド」平成22年7月より

国・県・市指定文化財一覧表

文化財に関する問い合わせ／[匝瑳市教育委員会](#)

●国指定文化財

(平成22年4月1日現在)

種類	名称	所在・指定伝承地	所有・伝承者
重文	絹本着色愛染明王像	横須賀1294	長徳寺
重文	絹本着色普賢延命像	横須賀1294	長徳寺
重文	飯高寺講堂・鼓楼・鐘楼・総門	飯高1789	飯高寺
無民	木積の藤箕製作技術	木積	木積箕づくり保存会

●県指定文化財

(平成22年4月1日現在)

種類	名称	所在・指定伝承地	所有・伝承者
有考	丸木舟	八日市場イ2402	匝瑳市
有考	中台板石塔婆(建長五年在銘)	中台388-1	中台区
有工	梵鐘(文和二年在銘)	宮本256	熊野神社
有絵	聖画	蕪里2742	日本ハリストス正教会 須賀正教会
無民	八日市場の盆踊り	米倉・砂原	八日市場盆踊保存会
有絵	絹本着色高野四社明神図	八日市場イ2326	福善寺
有彫	木造釈迦涅槃像	八日市場イ2820-1	下出羽区
記史	飯高檀林跡	飯高1789	飯高寺
有絵	絹本着色十二天像	八日市場イ2326	福善寺
有絵	絹本着色真言八祖像	八日市場イ2326	福善寺
有古	天正検地帳(下総国匝瑳松山御神領帳)	松山1127	松山神社
有建	飯高神社本殿	飯高475	飯高神社
有絵	絹本着色十王図	八日市場ホ2661	西光寺
有絵	絹本着色阿字觀像	貝塚860	宝光寺
無民	仁組獅子舞	栢田	仁組獅子舞保存会

●市指定文化財

(平成22年4月1日現在)

種類	名称	所在・指定伝承地	所有・伝承者
有考	西光寺板碑	八日市場ホ2661	西光寺
有考	西光寺小塔	八日市場ホ2661	西光寺
有考	老尾神社板碑	生尾75	老尾神社
有古	如来寺古文書	長谷715	如来寺
有考	龍尾寺板碑	大寺1856	龍尾寺
記史	作新精舎跡	椿	常福寺
記史	知善堂塾跡	飯塚1067	寺本家
記天	松山神社大杉	松山1127	松山神社
記史	脱走塚	中台304	龍生院
記史	前方後円墳	南神崎	秋葉家
記史	前方後円墳	入山崎	匝瑳市
有建	飯高神社瑞垣	飯高475	飯高神社
記史	加納おせん墓	木積1215	龍頭寺
記天	老尾神社大杉	生尾75	老尾神社
記天	大浦牛蒡	大浦地区	大浦牛蒡保存会
有彫	鑄銅製地藏菩薩坐像	八日市場イ2950	見徳寺
有古	西光寺古文書	八日市場ホ2661	西光寺
有考	円静寺板碑	安久山33	円静寺
有彫	円静寺板曼荼羅	安久山33	円静寺

種類	名称	所在・指定伝承地	所有・伝承者
有絵	仏画曼荼羅	八日市場イ2326	福善寺
有絵	聖画主之昇天	久方220	金杉家
有彫	銅造阿彌陀如来及び両脇侍立像	長谷715	如来寺
記史	弘智法印縁起の寺	大浦1128	蓮花寺
記天	黄門桜	飯高2088-4	飯高寺
有書	曼荼羅本尊	飯高477	妙福寺
有考	題目板碑	飯高477	妙福寺
無民	松山神社神楽	松山1123	松山神社神楽保存会
記天	サイカチの木	八日市場ホ3246	山中家
記史	日祐百座説法塚	飯高1684	仲台区
記史	日円上人塚	飯高1697-1	妙覚寺・岡山県
有建	飯高神社拝殿付・天井絵132枚	飯高475	飯高神社
有古	見徳寺の禁制文書	八日市場イ2950	見徳寺
有彫	木造聖観音菩薩立像	山桑108	医光院
有建	妙廣寺釈迦堂	内山919	妙廣寺
有建	宝光寺阿弥陀堂	貝塚860	宝光寺
有彫	木造不動明王立像	横須賀1294	長徳寺
有工	飯高寺の天蓋	飯高1789	飯高寺
記天	安久山の大神イの木	安久山197	平山家
有工	山桑稲荷神社の幕	山桑区	山桑地区氏子
有工	宮和田星宮神社の幕	大浦394-4	須合 誠
有工	平木星宮神社の幟	平木2975	椎名 章
有工	飯塚大宮神社の幟	飯塚区	飯塚区氏子
有工	宮和田星宮神社の幟	宮和田区	宮和田区氏子
無民	東郷神楽	東郷	東郷神楽保存会
無民	庄八節盆踊り	西宿	庄八節盆踊り保存会
無民	九十九里浜地曳大漁歌	堀川浜	九十九里浜地曳大漁歌 保存会
無民	野手囃子	大根畑	野手囃子連九十九会
無民	八雲神社祭礼囃子	西宿	八雲神社祭礼囃子保存会
無民	六社神社神楽	宮前古町	六社神社神楽保存会
有絵	釈迦涅槃図	川辺2877-2	薬師寺
有絵	絹本着色五大明王図	川辺2877-2	薬師寺
有絵	両界曼荼羅	川辺2877-2	薬師寺
記天	椰	野手154	円長寺
記天	檼	川辺2877-2	薬師寺
有古	横須賀村と五ヶ村用水訴訟御裁許絵図	横須賀1294	横須賀区
無民	亀崎如意輪まいり	亀崎	亀崎如意輪まいり保存会

●国登録有形文化財

(平成22年4月1日現在)

名称	所在地	年代
坂本総本店店舗	八日市場イ2474	明治38年
新井時計店	八日市場イ2450	昭和6年
鶴泉堂菓子店店舗兼主屋	八日市場イ2871	大正14年
鶴泉堂菓子店石倉庫	八日市場イ2871	大正14年

「匝瑳市観光ガイド」
平成22年7月より

市の鳥・花・木



市の鳥・ウグイス



市の花・チューリップ



市の木・イヌマキ

そうさ 【匝瑳の語源】

匝瑳の由来は、平安時代前期の歴史書「続日本後紀」によれば、5世紀の終わりごろから6世紀の初めにかけて、現在の近畿地方の豪族であった物部小事(もののおこと)という人物が、坂東(ばんどう・現在の関東地方)を征した勲功により、朝廷から下総国の一部を与えられ、匝瑳郡(さふさごおり)としたと伝えられています。

匝瑳の語源については、930年代に編纂された「倭名類聚抄(わみようるいじゅしょう)」には、狭布佐(さふさ)と書かれています。「狭」は美しい、「布佐」は麻の意で、“美しい麻のとれる土地”であったことから、狭布佐(さふさ)が転じて匝瑳(そうさ)になったと考えられています。

漢和辞典によれば、漢字の「匝」は、訓読みで“匝(めぐ)る”と読み、一巡りして帰るという意味があり、「瑳」は、訓読みで“瑳(あざ)やか”あるいは“瑳(みが)く”と読み、あざやかで美しいという意味があります。



写真コンクール出展作品より
(匝瑳市観光協会)